

2003.9.12発行

44号

エコ・リサ通信

埼玉エコ・リサイクル連絡会会報
発行人 高木 康夫

地域学習会in北本

『活かせば資源、捨てればごみ』

生ごみを燃やさないで処理すれば!!

日時 平成 15 年 9 月 20 日 (土)

13:30 ~ 16:30

場所 北本市文化センター (第 1・2 会議室)

テーマ ごみを発生場所 (家庭等) で
処理することへのチャレンジ

申し込み期限9月17日

現在家庭の生ごみは、他のごみと混合焼却されています。生ごみは排出されるごみの中では一番多いごみなのです。この生ごみを各家庭で消滅する事ができたなら、どんな事が起こるのでしょうか。

ごみの収集費は? 焼却場の建設費は? 生ごみ以外の焼却費は? 各家庭に設置する処理機の投資額は? エコ・リサのチームが 1 年かけて研究した結果を発表します。

プログラム

- 学習会 1 生ごみの集団焼却処理を、各家庭で個別処理に変えると・・・?
- 2 北本市中丸小学校の生ごみ処理機での処理について
- 3 北本市栄小学校の生ごみ処理機での処理について
- 4 非電動式生ごみ処理器「らくらくゴミケシくん」使用の中間結果

学習会の前に北本市栄小学校の低電力生ごみ処理機の見学を行います。

集合: 9/20 11時 北本市文化センターロビー

昼食: 700円 交流会: 2,000円 (各自申し込み 当日集金)

詳細は同封のチラシを確認の上、お申し込み下さい。

『やればできる、生ごみの減量対策』

平成15年8月19日(火)第10回エコ・リサ見学研修会が51名の参加者により行われました、見学先は久喜・宮代衛生組合(生ごみ堆肥化処理施設)、板倉町資源化センターの二箇所を見学しました。

参加者の声！声！

久喜・宮代衛生組合/生ごみ堆肥化処理施設の見学

志木市 増田 千春さん

職員の方のお話の内容から、おぼろげながら見えてきたことが2つありました。

久喜・宮代衛生組合という広域での生ごみ堆肥化というプランが生まれたいきさつについて。

焼却炉の新設を検討する過程で、水分が多く焼却炉に負担をかける生ごみを燃やさないという選択がなされた。



生ごみ堆肥化には水切りの徹底などの協力が不可欠であるが、それが可能となった背景について。

久喜・宮代地区では、他地域に先行してごみの減量(分別、資源化)に力を注いできた。長い年月にわたる取組みの積み重ねによって、住民に受け入れの素地ができていたのではないかと。



また、今回の見学で、生ごみ堆肥化処理施設に自分を置いてみて実感したのは、施設の内部が猛烈に臭いということでした。アンモニア臭が鼻と目を突いて、何分間もいられません。働いている人たちの健康は大丈夫なのかと心配になりました。

板倉町資源化センター見学

宮代町 堀 あさ子さ

ん

板倉町資源化センターでは、燃やせるごみも固形燃料化されているという点に興味を持ちました。他にも、町で作られ町民に配付されるカレンダーには、一年間のごみ収集日も印刷されている、ごみ袋は生ごみ用、燃やせるごみ用などの袋に別れていて、すべて有料、など、ごみに対する意識がより高められるようになっていました。二つの町の施設を見学でき有意義な一日でした。

今回は子供の参加が少なかったですが、来年は、もっとたくさんの子供に参加してもらって、ごみ問題の深刻さをわかってもらいたいです。（堀 開史君）



久喜・宮代衛生組合では生分解性ごみ袋に入れて回収し、日本では初めてではないかという生ごみ 100%の堆肥化に取り組んでいました。

平成 15 年は 39.2%のリサイクル率を平成 19 年には 60%を目標に 家庭からの生ごみ プラント 集団設置されている生ごみを全部合わせて全量堆肥化を進めています。社会変化にともなうごみ質の変化に焼却炉の発熱量が合わなくなり、竣工された同施設での 3 本柱として、・炉の規模を拡大しない、・生ごみの全量堆肥化、・リサイクルプラザの建設があげられていました。

板倉町資源化センターは 1 日に 20 t の固形燃料処理能力を持つごみの固形燃料化施設と高速堆肥化施設を持つとてもきれいな、また、設備の素晴らしい資源化センターでした。収集袋に氏名を記入する意識付けや、良い堆肥にするために分別する時の重要ポイントは「水切り」だそうです。

生ごみを各家庭で処理できたら行政負担は軽減されるか

埼玉エコ・リサイクル連絡会の12名の研究チームが、財団法人消費生活研究所からの研究助成金を得て、このテーマに挑んで1年。本年7月5日に開催された同研究所の発表会で報告し高い評価を得た。ここにその研究の要約を紹介する。

尚この研究の正式名称は「家庭で発生するちゅう芥類を、焼却処理する場合と生ごみ処理機で処理した場合の経済的負荷と環境的負荷の比較について」である。報告書は同研究所発行の「持続可能な社会と地球環境のための研究助成成果報告論文集」の中に掲載されている。

市町村の焼却ごみは、各家庭や小規模事業者から生ごみとその他のごみの混合状態で排出されている。排出されたごみは、自治体により収集運搬され、焼却処理され、焼却灰は埋立等の方法で処分されるのが一般的な方法である。しかし最近では、家庭や小規模事業所等、ごみの発生場所で利用できる生ごみ処理機器の開発が進み、一部の自治体は補助金を支給してこれら機器の普及を促している。エコ・リサの研究者等は、今の「全部を焼却する方法」と、「生ごみは家庭や事業所等の発生場所で処理する方法」とでは、経済的負担と環境的負荷がどう違うかを比較した。ここでは経済的負担についての研究結果を紹介する。比較は埼玉県内で約30万人の人口を有し、ごみの焼却量が年に10万トン程度の都市を研究対象として行う事とし、具体的には川越市をモデルとして解析を行った。

川越市は平成13年度約9万7千トンのごみを焼却した。

その年の川越市の焼却ごみには、生ごみが湿状態で約4万9千トン(51%)混合していたと推定された。このことから生ごみを家庭などで処理すると、市はおよそ半分のごみを収集し、焼却し、灰の処分をすればよい事になる。焼却量が半分に減る事は焼却設備も半分の能力で足りる事になり、建設費も安くなる。一方生ごみを家庭や事業所で処理するには、新たに生ごみ処理機の設備費が発生し、生ごみ処理の費用も発生する。では、2つの方法では、設備投資がどう変わり、年間の費用もどう変わるのだろうか。

それを推定したのが次ページの表1、表2である。

結論、全部を焼却処理する場合と生ごみを分離処理する場合とでは

- 1、設備投資額は全部を焼却処理する場合は約231億円、生ごみは分離処理する場合は283億円と生ごみ分離処理の方が52億円ほど大きい。

研究では焼却能力10万トンと5万トンの焼却設備の建設費を、本年4月操業開始予定の所沢市の焼却場建設費の資料を使って推定した。

生ごみ処理機は、1戸建て住宅は各戸に、集合住宅は50戸に1台の共

同生ごみ処理機を設置する事として設備費を推定した。

2、年間の処理経費は、上の設備投資額を減価償却費として年間経費に組み入れても、生ごみを分離処理する場合の方がわずかに安い。

収集費は市の収集する費用と、業者が直接焼却場に持ち込む費用を推定し計算した。

設備の減価償却費の計算は、焼却施設については平均償却年数を15年として、生ごみ処理機については平均10年として計上した。

生ごみ処理機としては、戸建て住宅には電力を使わない「らくらくゴミケシくん」を、集合住宅には省電力タイプの「エコポット・プロ 日量50kgタイプ」を採用した。

投資額と年間経費についての項目別比較は、下記表1、表2の通りである。

表1：設備投資額

	混合焼却処理システム	生ごみ分離処理システム	差
焼却ごみ処理量 (単位ト)	96,608 ト	47,501 ト	-49,107
生ごみ処理量 (単位ト)	0 ト	49,107 ト	49,107
焼却設備 (単位千円)	23,091,600	18,292,000	-4,799,600
生ごみ処理設備 (単位千円)		10,050,440	10,050,440
計	23,091,600	28,342,440	5,250,840

表2：年間必要経費額 (単位千円)

	混合焼却処理システム	生ごみ分離処理システム	差
収集費	1,849,656	909,454	-940,202
焼却処理費	850,688	529,430	-321,258
焼却設備減価償却費	1,539,440	1,219,467	-319,973
終末処理費	283,700	229,024	-54,676
生ごみ処理費	0	511,702	511,702
生ごみ設備減価償却費	0	1,005,044	1,005,044
計	4,523,484	4,404,121	-119,363

注1) 焼却設備の修繕費は焼却処理費に計上してある

この研究は、人口30万都市についてのものであるが、生ごみ分離処理システムが、行政経費改善の点から、各市町村のごみ処理施設建設の際、検討課題になりうる事を示したものと見える。今後、行政や、その地の市民団体等が、この研究をたたき台として、独自の計画の立案・検討に利用される事を期待したい。

また、本研究で採用した非電動式生ごみ処理機は発明後の日が浅いので、

更に使用研究や改善を進める必要があると考える。(報告者 竹村 元宏)

JCコーナー

(社)日本青年会議所

関東地区埼玉ブロック協議会

LOM支援特別会議議長 廣瀬直生

6月7日に富士見市市民文化会館「きらり ふじみ」で行なわれた「彩の国TOYP大賞」授賞式で、川口青年会議所推薦の浅羽理恵さんがグランプリを獲得しました。「彩の国TOYP大賞」とは、埼玉ブロック協議会で今年から始めた新しい事業で、埼玉県を拠点に、独自のまちづくりやひとづくり、ボランティアの分野において光り輝く活動を行なっている人間力あふれる若者を発掘し、青年会議所のネットワークを用いて彼らにスポットを当て、各地域の更なる魅力の向上につなげようという事業です。また、浅羽さんは、7月18日にパシフィコ横浜で開かれた(社)日本青年会議所主催の「人間力大賞」でも、その活動が認められ、環境大臣奨励賞を受賞されました。

浅羽さんは、市民レベルからの環境に対する取組みが必要であると実感して、「川口市民環境会議」を設立し、環境問題の専門家を招いた講演会や、生活レベルから地球を考える講座などを市内で主催してきています。また、同会議が行なっている主な事業として、「市内一斉エコライフDAY」があります。これは、地球温暖化防止の為に二酸化炭素の排出量を抑制しようと、同会議が独自でまとめた1日版環境家計簿(チェックシート)に沿って、電気、資源、車、水、食の分野別に1人1日どのくらいの二酸化炭素を減らせるかを記録する1日のことです。普段忙しい毎日の中で意識しにくい環境を考えた行動を、「1日だけなら…」と発想を変え、その日をきっかけに少しでも地球環境に対する意識を高めてもらう事が目的となっています。チェックシートは、川口市内の全小、中、高校の生徒に配布され、一般市民も含め毎年1万人以上が参加をしています。2001年度のエコライフDAY1日で約1.7万トン、2002年度で1.4万トンの二酸化炭素削減に寄与しています。参加していただいたそれぞれの学校に対しては、「どのくらいの二酸化炭素が削減できたか」の数値データをフィードバックするきめ細かな対応を行い、子供達の更なる意識向上も図っています。エコライフDAYは、「市民の草の根的ユニークな取組みの事例」として、2002年度の「環境白書」(環境省発行)にも紹介され、また埼玉新聞、日本経済新聞、日本農業新聞、NHKなど、様々なメディアが、その取組みを取り上げています。また、2002年から小中学校に導入された「総合的な学習の時間」においても、その準備期間である2001年から、様々な小中学校で環境について出前授業を行っています。その中では、エコライフDAYの理解促進や、地球温暖化を防ぐにはどうしたらよいか等をワークシ

ヨップ形式で行っています。

私達青年会議所は、浅羽さんを単に表彰して終わるのではなく、これからも一緒になってまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

詳しくは同封のチラシを
ご覧下さい

SKIPシティ

グリーンコンシューマー
あ・つ・ま・れ!

日時 平成 15 年 10 月 5 日 (日)
13:30 ~ 15:30 (受付 13:00 ~)
場所 SKIP シティ (川口市)

『環境にやさしい買い物キャンペーン』の一環として、埼玉県では埼玉エコ・リサイクル連絡会と共催し講演会を開催します。

環境に良い事をしたいと思っはいても、「自分だけがしても...」とか「辛そう...」とか、なかなか行動に移せずにいませんか？環境問題への取り組み方を、一緒に考えましょう。他にも各地のマイバック展示など、会場では買い物のかわいいお友達、マイバック君たちが皆を待っています。

グリーンコンシューマー講演会

講師 矢野 郁子さん (麻布学園麻布高等学校講師)
テーマ

「素敵なグリーンコンシューマーになるために」
~ あなたの買い物が社会を変える ~

事例発表

「"エコライフDAY 2003 in 川口" の報告」
(川口市民環境会議 代表 浅羽理恵さん)
「買い物ガイド作成マニュアル」を発行して
(埼玉エコ・リサイクル連絡会理事 大前万寿美さん)

速報

エコ・リサ
交流集会

2004'

開催決定

日時：2004・2・7 (土)

10時開催予定!

会場：大宮ソニックシティビル

(市民ホール)

基調講演・分科会もパワーアップして
お待ちしております。

詳しくは次号 45 号でお知らせします

エコ・リサ連絡会 入会のご案内 7

埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費（年間） 個人会員 2,000 円
 団体会員 3,000 円
 賛助会員 10,000 円（1口）

賛助団体のご紹介

(株)谷澤商会	富士見市
(株)相馬建設工業	川口市
五十嵐 文彦	狭山市
高橋 茂仁税理士行政書士事務所	草加市
(株)高読	幸手市
吉見商事(株)	熊谷市
(株)読売旅行春日部営業所	春日部市
...順不同...	

ご支援・ご協力ありがとうございます。

お願い：エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。

郵便振替口座番号 00110-7-764571 加入者名 埼玉エコ・リサイクル連絡会
埼玉りそな銀行 川口支店 普通 4062794 名義 埼玉エコ・リサイクル連絡会

事務所のご案内

〒330-0846

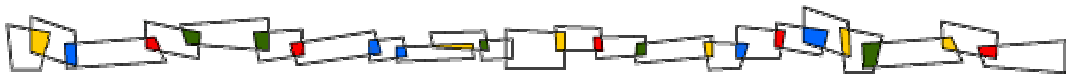
さいたま市 大門町 3-205 新井ビル303号室
(JR大宮駅東口から徒歩8分)

TEL 070-6659-6912 (担当園田)

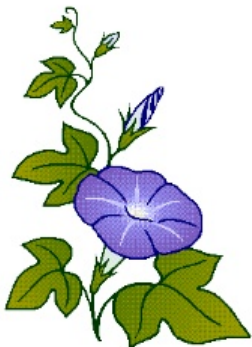
FAX 048-642-6163

ホームページ<http://satte.yc1.co.jp/eco/>

注：yc1の1は(エル)でなく(いち)です。お間違いなく！



編集後記



夏らしくなかった今年の夏！
しかし、苦痛の汗・ひや汗・怒りの汗 etc・・・
44号は報告記事をはじめ、お知らせ、お誘いがめいっぱいです。読み落としのないように、じっくりご覧ください。原稿をお寄せくださった皆様に心から感謝です。

通信担当 宮田尚美

